

会 議 録

会議の名称	長期計画審議会（第6回）
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係
開催日時	平成27年9月9日(水)午後6時～午後8時50分
開催場所	市民会館3階 萌え木ホール A会議室
出席者 (13人)	会長 渡邊 嘉二郎 委員 職務代理者 高橋 雅栄 委員 委員 久保 節紀 委員 中村 裕子 委員 竹之内 一幸 委員 鉄矢 悦朗 委員 今井 啓一郎 委員 上原 和 委員 志田 尚紀 委員 本木 治子 委員 福元 弘和 委員 杉山 薫 委員 河野 律子 委員
欠席者 (3人)	岡本 鮎実 委員 渡邊 智子 委員 齊藤 俊之 委員
事務局	企画政策課長 水落 俊也 企画政策課長補佐 中田 陽介 企画政策課主任 工藤 真矢 企画政策課主事 高野 修平 有限責任監査法人トーマツ 堀井 敬太 有限責任監査法人トーマツ 加藤 俊介
傍聴の可否	○ 一部不可 不可
傍聴者数	1人
<p>【会議次第】</p> <p>1 中間答申に向けて</p> <p>2 重点プロジェクトについて</p> <p>【会議結果】</p> <p>1 中間答申に向けて ≪資料 20, 21≫</p> <p>○事務局より資料 21 をもとに説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、7月13日第5回審議会で提出したものを、中間答申に向けて、これまでの審議と第4回の起草委員会のご意見を踏まえて、記載内容の見直し及び表現を修正した。 <p>≪環境と都市基盤≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境と都市基盤では、みどりの量だけではなく、質の観点が重要ということと小金井らしさのまちづくりについてなどご意見をいただいた。 	

- ・環境美化サポーター制度について、団体と団体が交流できるようなコーディネートの役割の必要性。
- ・小金井らしさについて、都市計画マスタープランでも小金井の風土にあった風景の保全と形成や「農」をいかしたまちづくりを掲げており、小金井らしさを実感できるまちづくりに取り組んでいる。市街地の施策以外に、地域と経済の農業の部分とみどりの創出の施策に、街路樹、遊歩道緑化など整備、特色ある歩行空間づくりなどについて追記した。

《地域と経済》

- ・地域と経済については、5年経っての見直しということのため、大きく変えるというより、ちょっとした方向修正や必要になったものを加えていくというご意見をいただいた。
- ・人と人、団体と団体をつなげる、ばらばらにおこなっているものをまとめられるような方向についてのご意見があり、新たな価値観と創造をつなげて、より産業や観光を振興していくため、商工会、商店会、農業者及び市民など多様な主体と連携協力して、それらの主体をコーディネートする「中間支援組織」の仕組みづくりについて追記した。
- ・農業をしたい市民と人が足りない農家とをマッチングさせる援農ボランティア制度の他に農業の6次産業化や農業と観光との連携など追記した。

《文化と教育》

- ・文化と教育について、共通的なものというより、一つ一つの施策に対してご意見をいただいた。
- ・はげの森美術館について、開館10年の実績も踏まえて今後の運営に取り組んでいきたいということから、安定的な運営の推進について追記した。
- ・スポーツに関するものとして、チャレンジデーの実施を踏まえた今後の展開について、意見交換会等の実施など追記した。
- ・総合型地域スポーツクラブについては、市内に黄金井倶楽部があり、そうした地域に根差した団体を今後も育成・支援するとともに、市民、スポーツ関係団体、地域、大学などとの連携・協働を視点に、今後も施策を推進する旨追記した。

《福祉と健康》

- ・福祉と健康について、高齢者、子ども、障がいのある方など、身近な問題についてご意見をいただいた。
- ・生活満足度、心の豊かさというキーワードを使用してはどうかというご意見があり、“心の豊かさ”については、高齢者だけではなく、子ども、

子育てしている方、障がいをお持ちの方、そのほか、全ての方に関連するものではないかとの考えから、「重点プロジェクト」の目指すべき姿に掲げた。

- ・子育てに関する部分で、市内には、子育て支援活動団体は 50 以上もあり、地域が一体となって子育てを支援する体制がある。そうした団体の活動を積極的に広報するなど支援し、地域との連携を強化していき、小金井市で子育てしたいという人を増やしていくこと、広く地域の支援が届く仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えており、その旨追記した。

《最後に》

- ・各分野、様々な貴重なご意見をいただいた。いただいたご意見についてその趣旨をできる限り案文に追記した。
- ・総合計画は、概念的な計画でもあるため、詳細の取組の記載は、そのまま反映できなかった部分もあるが、今後の事業の実施の際や、総合計画の下に位置付けられる分野別の諸計画において検討していきたいと考えている。また、第 5 次の基本構想の際の参考になるよう、活用していきたいと考えている。

○続いて、資料 20 について、第 4 次基本構想・後期基本計画（案）中間答申（案）の構成などを説明した。

- ・第 5 章（前期基本計画の総括）は、後期から初めて掲載した。
 - ①施策の大綱の取組状況として、前期基本計画で設定した目標についての取組状況と、②成果・活動指標の達成状況である。
- ・第 7 章（財政計画）は、中間答申を受けてから市が策定する部分であるため、中間答申では掲載しない案となっている。
- ・「成果・活動指標」と「主な事業」は、財政計画との整合性を図るため、中間答申では掲載しない案となっている。
- ・また、7 月 4 日に開催した「こがねいまちづくりカフェ」について、前回 7 月 13 日の審議会で、まちカフェのまとめをしていただいた。まとめの中で、まちカフェでの意見は、基本的には今までの審議会や起草委員会での議論に大枠、包含されるものが多かったということでしたので、これまでの意見を踏まえたこの中間答申案に含まれているものと考えているが、最終答申に向けて、検討してみて反映できる場所があれば、また報告したい。また、計画の中に、まちカフェのコラムページの作成をしたいと考えている。こちらもまた報告したい。

○主な意見

- ・施策 43 スポーツ・レクリエーション活動の支援について、施策の方向

性について、「団体組織の育成等により」を「団体・組織、指導者の育成等により」に修正してはいかが。

→（事務局）そのとおり修正する。

○会長より

- ・次の3点について記載し、中間答申に添付する文書としたい。
- ・会議の経過（審議会、分野別起草委員会、「こがねいまちづくり カフェ」の実施など）
- ・中間答申の位置付け（財政的な裏付けとして中期財政計画（案）の策定の必要性）
- ・今後について（審議会、市民フォーラム、パブリック・コメントの実施）

【決定事項】

- ・現案を中間答申として決定することとし、会長の文章を添付し、市長に提出することとした。

2 重点プロジェクトについて 《資料 22》

- ・重点プロジェクトとは、第4次基本構想・前期基本計画で初めて位置付けられたもので、基本構想の将来像を着実に実現するために、基本構想の重点政策を踏まえて、重点的かつ横断的に取り組むべき6つのテーマを設定し、各分野から特に重要な取組を選び、重点プロジェクトを設定したものである。
- ・後期基本計画についても、10年間の基本構想を実現するため、基本は、前期の6つのプロジェクトと取組について引き続き実施していくものとしている。
- ・事業が終了した取組等については、削除又は変更をしている。
- ・変更点について説明した。※P＝プロジェクトの略
- ・「みどりと環境プロジェクト」前期では、学校の校庭の芝生化が挙がっていたが、現在までで6校芝生化が完了しているが、未実施校の意向があまりなくなっているのと費用対効果の観点から、後期では主な取組からは削除している。循環型社会の形成について、ごみをもとから抑制することを最優先として3R（リデュース、リユース、リサイクル）に更に取り組んでいく方針として取組内容を変更している。
- ・「まちなにぎわい創出プロジェクト」では、JR中央本線連続立体交差事業が平成25年度で終了したため、取組から削除。
武蔵小金井の駅北口について、整備を進めていくため追加。
地域情報ネットワークの推進として、ここ数年のSNSなどのような情報発信手段が急速に普及していることもあり、市のホームページを活用した新たな方策を検討していくため、主な取組を変更。

前期の商業振興モデル地区の推進の取組が一定終了したため、商工会や商店会などのそれぞれの自主的な活動を尊重しながら、それに対する支援を行うこととした内容に変更。

- ・ 3「子育て・子育て応援プロジェクト」では、乳幼児についての取組を追加。
- ・ 4「生涯いきいき安心プロジェクト」では、介護予防事業の充実について、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）について追加。
- ・ 5「共生社会推進プロジェクト」では、目指すべき姿の1つ目に、委員からのご意見を踏まえて、「心豊かに」というキーワードを追記。
- ・ 6「きずなを結ぶまちづくりプロジェクト」では、産業基盤の整備として、中間支援組織について追加。また、図書館と公民館についても、今後の図書館、公民館のあり方について、市民を交えて検討するということを追記。

○主な意見

- ・ 前期との比較がないと議論しづらい。
- ・ 重点プロジェクトと重点政策、4つの柱などの関係性がわかりづらい。
- ・ 総合型地域スポーツクラブについて追加してもらいたい。
- ・ 環境部分などで農業についても触れた方がいい。
- ・ 代表的な取組としてはどうか。
- ・ 循環型社会の形成についての取組の文言を修正した方がいい。

【決定事項】

- ・ 9月14日（月）に臨時に審議会を開催し、重点プロジェクトと市民フォーラムについて引き続き議論することとした。
- ・ 意見がある場合は、9月11日までに事務局へ連絡する。
- ・ 前期と後期の変更点分かる資料を次回までに事務局が用意する。

～以上で会議終了～